

# mi-mok



# 美山町大野とは

美山町は京都市の北部に位置する自然豊かなところです。

私たち美山木匠塾は美山町の西部に位置する大野で活動しています。

国宝陶芸作家の野々村仁清は大野の生まれとされ、

その生家と言いつたえられている茅葺き民家は、今でもその姿を残しています。

地区を通る府道12号線は、

バイクや自転車のツーリングコースとして人気があり

長期休暇には大勢のツーリストたちが通ります。

大野区も豊かな自然に囲まれています。

空気が澄んだ晴れた夜空には満天の星が広がり、

6月ごろには多くのホタルが飛び交います。

都会ではふれることのできない

“美しい自然”

がここにはあります。

## ----- 目次 -----

- p.1 美山町大野について
- p.2 目次
- p.3-4 2019 年度年間活動報告

### 成果物紹介

- p.5-6 製作物について
- p.7-8 絵本について

### イベント

- p.9-10 制作合宿
- p.11 大野区感謝祭
- p.12 北大江たそがれコンサート
- p.13-14 カホンワークショップ
- p.15-16 mimok 展
- p.17-20 感想集
- p.21-22 2019 年度総括

# 2019年度年間活動報告

まとめ

2019年度の美山木匠塾は、先輩方が取り組んできたことを継続しつつ、新しい取り組みにも挑戦しました。今後も継続と挑戦を両立させて常に発展していく団体を目指したいと思います。

## 企画・計画

4月

5月

6月

7月

8月

9月

7/11  
試作1回目

8/12-25  
試作2-3回目

制作

### GW現地調査合宿



大野を知る・体験するを目的とした合宿を行いました。制作のヒントを得ました。  
(2019/5/4~5/6)

### 第1回 現地プレゼン



考えた制作物の案を地域の方に提案し、要望やアドバイスを頂きました。  
(2019/6/16・17)

### 木材活用コンクール 授賞式



「KASANOKI」という過去の制作物が木材活用コンクール第4部門賞を授賞しました。  
(2019/6/22)

### 大野の未来を 考える会



大野の将来を、地域全体で考えるための会です。学生も混じって意見交換を行いました。  
(2019/6/28)

### 第2回 現地プレゼン



改善、修正した案を再度提案しました。ここで制作物の方向性を定める程度決めました。  
(2019/7/27)

### ホームステイ



現地の人の暮らしを知るためのホームステイを行い、地域の方と交流を深めました。  
(2019/8/31~9/2)

### LINKtopos



全国の公立大学の地域貢献サークルが集うイベントです。団体の紹介やワークショップを行いました。  
(2019/9/3~5)

### 第1回制作合宿



夏休みの制作合宿。現地に泊まり込みで、制作活動を行いました。美山木匠塾の一大イベントです。  
(2019/9/9~15)

## 引き渡し・活用

10月

11月

12月

1月

2月

3月

### 北大江 たそがれコンサート WEEK



制作物を大阪の音楽イベントでも活用して頂きました。観客席として4台の「カホンつながつき」を設置しました。  
(2019/10/5・10)

### 大野区感謝祭



大野の年中行事で、地域の方の前で制作物の引き渡しを行いました。例年は運動会も行います。  
(2019/10/13)

### 第1回 カホンワークショップ



南丹市から支援金を頂いて行った第1回のカホン作りのワークショップです。制作で得た知識を使って地域を盛り上げるためのイベントを開催しました。南丹市の様々な地域に住む方々が参加してくださいました。  
(2019/11/17)

### 第2回制作合宿



夏に作りきれなかった「木琴つながつき」の制作を行いました。合計8脚の「つながつき」が完成しました。  
(201/2/21~23)

### 第2回 カホンワークショップ



2回目のワークショップです。第1回よりも多くの参加者が集まり、非常に盛況のイベントとなりました。  
(2020/2/22)

### mi-mok展



美山木匠塾が生まれて20年、大野で活動を8年継続できた記念として開催された展覧会です。学生メンバーやOB・OG、地域の方が一堂に会して交流を深める機会となりました。  
(2020/2/22~3/1)

# つながっき カホンタイプ



カホンと椅子を組み合わせ、どこでも演奏に参加できるようにしました。

カホンは、ペルーの民族楽器で、手だたいて音やリズムを楽しむ楽器です。演奏会では座席として利用するほか、自らもリズムを刻んで演奏に参加することができます。

サウンドホールの位置によって音の響きが変わるので好みに応じて形や数を調整し違いを楽しむことが可能です♪



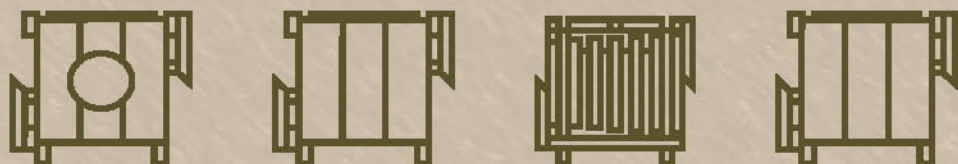
# つながっき 木琴タイプ



こちらは、木琴と椅子を組み合わせられた作品です。

通常、上からたたく木琴ですがこの作品では鍵盤が椅子の両側面についているので横から叩くことができます。背中合わせに座っての演奏や二台重ねての演奏も可能です。

柔らかな木の音色が心を穏やかにしてくれる癒しの楽器です。





## 地域を知る活動として絵本制作を行いました!

### ストーリー

地域の方から聞いたむかしばなしを元に、大野を舞台としたストーリーを作りました。夏休みにおばあちゃんの家にやってきた兄妹が主人公のお話です。小さな子でもわかりやすいストーリーでありながら、どんな年齢の人が読んでも学びにつながる絵本を目指して、1回生を中心に作り上げました。

印刷した絵本は、2月に行われたカホンワークショップや、mi-mok展で配布され、ストーリーの作成にご協力いただいた地域の方々にも読んでいただきました。ぬりえとして遊べる線画絵本も印刷し、子どもたちに喜ばれました。

新型コロナウイルス感染症の流行もあり、現地で絵本を配布することが難しかったので、絵本の読み聞かせ動画を作成し、Facebookにアップしました。



↑ 絵本表紙



← 絵本読み聞かせ動画用QRコード

わかりやすいストーリー

地域の高齢化問題

熱中症の対処法

### 第1回プレゼン合宿

6月15・16日の第1回プレゼン合宿では、制作物の案とあわせて、絵本のストーリーのプレゼンを行い、ご意見を頂きました。



### ホームステイ・ヒアリング合宿

8月31日～9月2日の3日間でホームステイ・ヒアリング合宿を行いました。里親さんに絵本や制作物、大野のことについてヒアリングをさせて頂きました。ホームステイをさせて頂いたお宅以外にも、大野区を歩いてまわって、何軒かお宅の方にヒアリングをさせて頂きました。



### 大野区感謝祭

多くの方が集まる大野区感謝祭では、普段お話をすることのない方からもご意見を頂け、とても良い機会になりました。



### 絵本制作・配布

頂いたご意見やお話をもとに絵本を制作し、配布しました。



# 制作合宿

9月9日から15日まで6日間行いました。  
全体的に参加人数が少なく予定通りにいかないことも多々ありましたが  
試作の経験を活かし全員で分担して作業を行うことができました！



元小学校の求祐館で作業を行います。



自動カンナをフル活用して  
面材から作りました！



木が腐らないように自然由来の  
塗料を染み込ませます。



夜には大野の綺麗な星空を満喫▶▶



打面は大きい面材が手に入らなかった  
ので三枚を雇い実接ぎでつなぎ合わせて  
一枚の面材にします！  
材が割れないように慎重に作った板材  
に穴をあけていきます。

パッカーン



時間の都合で夏はカホンのみ…！  
予定していた木琴4台は別の機会に▶▶

# 大野区感謝祭



毎年開催される体育大会と感謝祭ですが、体育大会は台風の影響で中止となってしまいました。感謝祭は開催されたので、そちらには参加させて頂きました。公民館の2階に集まって一緒に食事やお話をして、とてもにぎやかで楽しい時間になりました。

今年度制作した、つながっきのカホンタイプを紹介させて頂きました。色々な方から実際に感想を頂いて、改善点が分かったり、絵本のヒアリングを行ったりなど、とても良い機会になりました。



←大野の方に実際にカホンに座って叩いて頂きました！

制作したものが実際に使われているのが見れて、嬉しかったです。

# 制作物の活用

## 北大江たそがれコンサートウィーク

楽器の街、北大江地域で行われる音楽イベント。1週間にわたって、野外会場や、地域内の各会場にて様々な音楽が繰り広げられます。今年の制作物が楽器をテーマにしていたことから、イベントでカホンつながっきを活用して頂けることになりました。



↑イベントポスター



←2019/10/05  
天満橋のはちけんやで行われたオープニングコンサートで観客席として、カホンつながっきを4台設置させて頂きました。



10月10日に行われたMohawk Jazz Trio Liveでも、カホンつながっきを観客席として設置させて頂きました。

ライブ後にはカホンつながっきを叩いてもらったり、カホンの扱い方についてアドバイスを頂いたり、有意義な時間を過ごすことができました。



ライブの様子と客席のつながっき



楽器についてのお話を聞く



つながっきを叩く様子



ポンドぬりぬり♪

## カホンづくりのワークショップ

今年度の制作経験を活かし、地域の活性化につながるイベントをしたいと考え11月17日と2月22日にカホンづくりのワークショップと演奏会を行いました。

参加者はご近所の方や遠方から車で来られた方まで様々でした。カホンに興味があり演奏の仕方が知りたくて参加して下さった方や、木のモノづくりに興味があり来て下さった方もいました。皆さん楽しんでいただけたようで、機会があればまた参加したいとの感想もいただきました。



リズム体操や健康体操をおこなったあと「上を向いて歩こう」をカホンのリズムに合わせてみんなでうたいました！



手で絞めていきます！



思い詰まった自分だけのカホンができました！



上手に作る事ができました！





# mi-mok展

美山木匠塾20周年を記念して、求祐館をお借りして、美山木匠塾の展示会、mi-mok展を開催しました。

歴代の作品を使って展示スペースをつくりました！



たくさんの学生が展示会に駆けつけてくれました！



展示会には現役生だけでなく、美山木匠塾OG・OBも在席しました。訪れた地域の方がたはお年寄りからお子様まで年齢は幅広く、学生の作品を見たり、展示に使用した作品で遊んだり、学生と交流したりして、展示会を楽しんでいただきました。mi-mok展の様子は2020年2月27日の京都新聞の記事に取り上げていただきました。

つながつきを叩いて遊んでいます(^^)



# 感想集

## 一年間を振り返って

美山木匠塾の代表幹事を務めさせて頂いた今年度は、非常に充実した活動を送ることができたと思います。「音楽」が、今年度の美山木匠塾の活動の大きなテーマでした。「つながっき」の制作やカホン作りのワークショップなど、少人数で取り組むには、なかなか大変なことも多かったですが、その分得られた達成感や自分の人生の財産と言えるほど大切なものになりました。

最後に、美山木匠塾の活動は様々な方のご支援で成り立っております。本当にありがとうございます。これからも宜しく願い致します。



2回生  
代表幹事  
植地  
俊輔  
Shunsuke Uchi

2回生  
会計  
山本  
有里菜  
Yurina Yamamoto



モノを作る難しさもそうですが、それ以上に活動を運営することの難しさを感じました。制作合宿の経験がない中で、中心となって考えていくことは大変でしたが、非常に学びの多い一年となりました。この1年間活動を続けられたのは、一緒に活動していた仲間と先生方、地域の方々のおかげです。ワークショップなど新しい取り組みができたことは大きな自信へと繋がりました。来年度も色々なことに挑戦していきたいです。

大野の皆様、いつもお世話になっております。今年度も木匠塾は多くの新しいことに挑戦できました。mi-mok展には多くの皆様に足を運んでいただき、展示会の企画に最初から関わった身としては嬉しい限りでした。

これまで3年間参加してきた僕も、もう4回生になります。この文章を書いている今は、コロナ禍にあり、卒業までに大野に顔を出せるか分かりません。ですが、社会人となっても、また顔を出しに行きたいと思います。



3回生  
幹事  
肝付  
成美  
Nanumi Kimotsuki

2回生  
副代表幹事

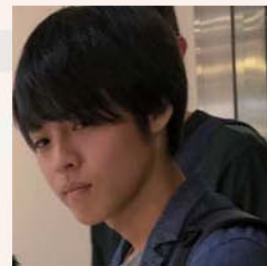
和氣  
史佳

Humika Wake



この1年は木匠塾の活動だけでなく、大学生になったことで初めてのことが多く、大変な1年でした。その中で、大野に行ったときに私たちのことを気にかけてくださる地域の方がいる、ということが私の大きな心の支えになりました。今年度はたくさん大野を訪れることができ、地域の方々とお話する機会もたくさんいただきました。私たちを応援して下さる地域の方に喜んでいただける活動にできるよう、これからも頑張っていきます。

美山木匠塾でのこの1年間の活動を通して、多くの思い出ができ、様々なことを学ぶことができました。その中でも特に印象に残っているのは、ホームステイ・ヒアリング合宿です。大野の方々とお話を深める良い機会になりました。また、畑仕事のお手伝いをしたり、畑で採れた野菜を食べたりと普段はできない体験をすることができました。これからも地域の方々との繋がりを大切にして、活動していきたいです。



1回生  
広報  
吉崎  
拓真  
Takuma Yoshizaki

1回生  
会計

大久保  
朋花

Tomoka Okubo



はじめに活動紹介で見させてもらった様々なイベントや作品が完成するまでに、想像以上の時間がかけられ、多くの人の協力があることをこの1年間の参加で学びました。忙しい中、より良い活動のために力を尽くしている同回生、上回生、先生方を見てたくさん尊敬しました。また、大野での、美山木匠塾に入ったからこそその出会いが嬉しかったです。来年度も良い活動ができるよう頑張りたいと思います。これからもよろしく願いいたします。

1回生

永瀬 遙人

Haruto Nagase



一年間、木匠塾のメンバーとして様々なイベントに携わり、一番に残った経験は美山でのホームステイです。そのホームステイのなかで、地域の生の声を聴き、親睦を深めたことは、とても楽しく、美山の魅力を感じれた経験でした。しかし、それらを自分たちの活動に生かし、つなげていくことは容易ではなく、悔しい思いをしました。

このような経験を与えてくださった木匠塾、美山の方々、関係者の方々に深く感謝しております。

私は美山木匠塾に参加し、合宿や絵本制作、コンペミーティング等に関わらせていただきました。合宿では、普段感じることのできない大野の自然と、人々の温かさに驚きました。また、絵本制作やコンペのミーティングでは、一つのものを作り上げるために、みんなで話し合う大変さ、そして、完成に近付いた時の喜びを感じることができました。これらの経験は、もの作りが好きな自分の将来を考えるために、とても良い機会となりました。



1回生

伊藤 朱里

Akari Ito

4回生

手島 悠登

Yuto Teshima



皆さん、こんにちは。4回生の手島です。今年度の活動にはあまり参加できませんでしたが、僕の代で実施出来なかったカホンワークショップを、とてもいい内容で実施してくれたり、あつまるまが楽器になったりと、僕たちがやってきたことが、活かされている様子を見てすごく嬉しい気持ちになりました。

今までの人生で一番成長を感じられた4年間でした。ありがとうございました。

設計図の作成から組み立てまですることで、課題で図面を書いているだけでは知ることができなかった部材の取り合いや納め方を学ぶことができたことは、とてもいい経験だったと思います。自分達で作った「あつまるま」を活かして、次の代の人達が製作してくれたことが嬉しかったです。今まで先輩方が製作されたもの、自分達が製作したもの、これから製作されるものが合わさって木育広場ができあがるのが楽しみです。

大野区の方々や協力して、製作物や絵本を作っていた経験を大事にしたいと思います。



4回生

長岡 真希

Maki Nagakawa

修士1回生

井上 あい

Ai Inoue



2019年度は制作に参加できませんでしたが、コンペティションのお手伝いなどで少し関わらせて頂きました。後輩が中心となって運営してくれたmi-mok展では、久しぶりに大野を訪れ、お世話になった方々にお会いすることができ、本当に帰省したような気分でした。

このように繋がりが続いていることをとても嬉しく感じ、活動を支えてくださる大野の方々、先生、塾長、メンバーのおかげであると感謝しています。ありがとうございました。

今年度はmi-mok展を行うことができました。様々なモノを製作したことを振り返るとともに、私が入塾当時想像していたよりも多くのメンバーと一緒に活動を共にし、たくさんの方々に関わり助けられてきたこと考えると感慨深いものがありました。そして、今年製作できたつながりも、長さや硬さの異なる角材から夫々の個性ある音が鳴り、大人から子どもまで楽しめるものになりました。これからも楽しい活動を期待しています！

修士2回生

谷口 裕貴

Yuki Taniguchi



修士2回生

淡路谷 直季

Naoki Awajitani



ついに大学院も卒業したのでお別れの年になってしまいました。2019年度はKASANOKIの受賞やmi-mok展の開催など、学生最後の年まで思い出に残ることがたくさんありました。

6年間美山木匠塾にはお世話になり、いろんな人達との出会い、たくさんの思い出をつくれました。かけがえのない経験をさせていただき、本当にありがとうございました。卒業しても美山木匠塾のことは陰ながら応援しています！

## ■ 2019年度の取り組み

### 制作活動「わんぱく公園」

本年度は、南丹市美山町大野区の求祐館において、制作合宿を行った。

【京都府立大学 制作物】

サークル：つながっき(カホン・木琴)

環境共生フィールド演習Ⅰ：くむくむ

### 現地ホームステイ / 合宿

美山町大野区にてホームステイを実施し地域住民と学生の絆を深めた。

### 地域を知る取り組み「えほん」

大野区のヒアリングなどを基にして絵本「お花さんのおんがえし」を制作した。また、読み聞かせ動画をFacebook「美山木匠塾」のページにアップした。

### 大野の未来を考える会

限界集落化した大野区の状況を情報共有し、これからの大野のありかたを考える機会として大野区評議員により開催された。美山木匠塾からは羽原塾長、松原教授、学生5名が参加した。

### 地域外の制作物活用

大阪府・天満橋で開催された「北大江たそがれコンサートWEEK2019」において、つながっき(カホン)を活用した。

### カホン・ワークショップ

大野区の求祐館において、つながっき(カホン)の制作経験を生かして、カホンを製作するワークショップを実施した。また、カホンのつくりかた説明書を作成した。

### 20周年記念行事「mi-mok展」

美山木匠塾の活動20周年に合わせ、大野区で活動を開始した2012年度以降の参加者がどのような事を学び、現在はどのようにしているかを地域の方に知ってもらう展覧会を開催した。

### 受賞

第22回木材活用コンクール

第4部門賞 (KASANOKI)

## 2019年度活動報告として

持続可能な活動を行うためにも、運営面の強化が課題でした。その運営面の多くの作業を、参加者が担って、活動を終える事ができたと思います。一年を通じた活動計画や、会計の調整、活動計画書や事業報告書の作成などに苦戦していましたが、運営基盤が固まってきたことで、外部資金を調達してワークショップを開催する、などの成果も得られましたね。みなさんの努力と成長によって、美山木匠塾の地力は、ぐんと底上げされたように感じました。この学びを、後輩に継承する事で、「運営する力」を持続し、発展させる事ができる団体に成長する事を期待しています。2017年度に商品化されたKASANOKIの受賞や、20周年記念行事のmi-mok展ではOBOGとのつながりも実感した一年でした。活動に関わって頂いている皆様のご厚意に感謝しながら、運営も活動も楽しめる団体にしたいですね。

美山木匠塾 塾長 羽原康成

みやまもくしょうじゅく

美山木匠塾



Facebook



## 2019年度活動報告書

2020年10月31日発行

発行元

美山木匠塾 事務局

発行・編集

羽原康成

大阪府岸和田市春木旭町36-34

TEL:090-9887-0852

美山木匠塾 参加大学

京都府立大学

代表幹事 植地 俊輔 (2年生)

参加学生数

修士2年生 2名

修士1年生 1名

4年生 4名

3年生 1名

2年生 4名

1年生 13名

参加学生合計 25名

塾長、事務局長

羽原 康成

サークル顧問

京都府立大学 教授

松原 斎樹

特別顧問

ものづくり大学 准教授

戸田 都生男

協賛

南丹市

南丹市美山支所 総務課

南丹市美山町大野

北大江たそがれコンサート実行委員会

2019年度活動に対して以下の助成を受けた。

・京都府公立大学法人学生地域活動支援事業

・南丹市まちづくり活動交付金

・株式会社総合資格 活動支援

◆撮影地 美山町大野

report on the activity in 2019.4 - 2020.3

